



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場会社名 株式会社メニコン 上場取引所 東・名
 コード番号 7780 URL http://www.menicon.co.jp
 代表者 (役職名)代表執行役社長 (氏名)田中英成
 問合せ先責任者 (役職名)執行役経営管理室室長 (氏名)太田章徳 (TEL) (052)935-1515 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	16,246	—	858	—	903	—	466	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 691百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第1四半期	円 銭 28.34	円 銭 27.90
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成27年3月期第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第1四半期連結累計期間の数値及び平成28年3月期第1四半期累計期間の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社株式は平成27年6月25日に東京証券取引所市場第一部および名古屋証券取引所市場第一部に上場しております。平成28年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成28年3月期第1四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第1四半期	百万円 68,926	百万円 36,470	% 52.8
27年3月期	67,609	33,872	50.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 36,414百万円 27年3月期 33,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	65,877	4.4	3,175	10.9	3,175	12.5	1,804	26.1	101.78

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益は公募株式数(1,500,000株)と第三者割当増資による株式数(345,000株)を含めた期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	17,844,000株	27年3月期	16,344,000株
28年3月期1Q	—株	27年3月期	—株
28年3月期1Q	16,459,384株	27年3月期1Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
- ・ 業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間における世界経済につきましてはギリシャ問題に端を発した欧州経済不安や中国の株価急落など、今後の経済動向に大きな影響を与えうる問題が発生しており不透明感が残る状況でした。一方国内経済につきましては、大企業を中心に積極的な設備投資を行うなど景況感に改善の兆しがみられました。コンタクトレンズ市場は前年同四半期連結累計期間の消費増税の影響から回復傾向にあるものの増税前の販売高水準には至っておりません。また市場規模につきましては緩やかではあるものの拡大傾向にあり、中でも乱視用や老視用など付加価値の高いコンタクトレンズの販売が増加しております。また、若い女性を中心に支持を得ている瞳の色を変えるカラーコンタクトレンズ、瞳を大きく見せるサークルレンズの市場への導入により、従来の視力矯正が必要な顧客に加えて新たな顧客層の開拓が進んでおります。このような状況の下、当社グループは瞳の安全を最優先に考え、より良い視力の提供を通じて広く社会へ貢献することを目標に事業基盤の更なる拡充、拡大に努めております。

国内コンタクトレンズ事業におきましては、当社グループの大きな強みである定額制会員システム「メルスプラン」の一層の拡大のため、需要期である新入学の時期と併せて会員紹介キャンペーンを実施致しました。また、近年装用者が増加している使い捨てコンタクトレンズおよびサークルレンズの会員獲得を強化するため当第1四半期連結累計期間は1日使い捨てコンタクトレンズ「Magic」に関して当社販売店での営業活動の強化を図るとともに、サークルレンズ「2WEEK Menicon Rei」につきましては乱視用「2WEEK Menicon Rei Toric」の市場導入準備を進めました。さらに、近年は成熟傾向にあるケア用品分野につきましても、「メルスプラン」内のケア用品宅配サービスである「ケアプラス」の会員獲得を強化することにより、当社顧客の固定化を進めました。

海外コンタクトレンズ事業におきましては、当社グループ海外向けオリジナルブランドである「Miru」製品の拡販を継続しております。北米においては「Miru 1day Flat Pack」の拡販に注力致しました。また欧州では強みであるハードコンタクトレンズ販売に引き続き注力するとともに「Miru」製品の販促活動を行っております。今後も自社製品の品質の高さを生かして海外におけるシェア拡大に努め事業基盤の強化に取り組んでまいります。

また、当社グループはコンタクトレンズ事業以外のその他事業につきましても日々業務拡大に取り組んでおります。中でも当社子会社である(株)メニワンでは動物医療機器および犬、猫の眼の健康を維持するサプリメントなどの動物医療に関連する製品販売が堅調に推移いたしました。この他にも当社環境バイオ事業にて稲わら分解促進材「アグリ革命・アグリ革命アクア」やたい肥化促進システム「resQ45」の販売促進活動を行っております。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、コンタクトレンズおよびケア用品の物販売上が前年同四半期を上回ったことおよびメルス会員数が堅調に推移したことにより売上高は16,246,359千円となりました。また、販売費及び一般管理費の効率的使用に取り組んだ結果、営業利益は858,395千円、経常利益は903,660千円となりました。以上の要因により親会社株主に帰属する四半期純利益は466,491千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンタクトレンズ関連事業

コンタクトレンズ関連事業は主にメルスプランの会員数が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は15,986,578千円となりました。

②その他

その他事業は主に当社子会社である(株)メニワンの動物医療事業売上高が前年同四半期連結累計期間と比べて大きく伸長したことを受け、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は261,158千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末において総資産は68,926,994千円となり、前連結会計年度末と比べ1,316,998千円の増加となりました。流動資産は現金及び預金の増加等により1,958,862千円増加し、28,812,384千円となりました。また、固定資産は減価償却等により641,863千円減少し、40,114,610千円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は法人税等および賞与の支払い等により前連結会計年度末に比べ1,280,852千円減少し、32,456,304千円となりました。

また、純資産は株式の発行等により2,597,851千円増加して36,470,690千円となり、自己資本比率は52.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年6月25日付の「東京証券取引所市場第一部及び名古屋証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,827,161	11,073,265
受取手形及び売掛金	7,180,972	7,067,420
有価証券	110,501	110,360
商品及び製品	6,582,729	6,619,125
仕掛品	485,885	473,746
原材料及び貯蔵品	1,348,087	1,303,827
繰延税金資産	833,842	615,029
その他	1,584,323	1,653,258
貸倒引当金	△99,981	△103,646
流動資産合計	26,853,522	28,812,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,430,288	18,443,656
減価償却累計額	△8,396,505	△8,462,516
建物及び構築物(純額)	10,033,782	9,981,139
機械装置及び運搬具	19,443,913	19,621,014
減価償却累計額	△11,825,761	△12,110,182
機械装置及び運搬具(純額)	7,618,152	7,510,832
工具、器具及び備品	5,653,826	5,731,954
減価償却累計額	△4,691,063	△4,784,306
工具、器具及び備品(純額)	962,763	947,648
土地	6,188,500	6,165,742
リース資産	1,285,528	1,285,528
減価償却累計額	△780,303	△824,830
リース資産(純額)	505,225	460,698
建設仮勘定	2,619,842	2,584,881
有形固定資産合計	27,928,266	27,650,942
無形固定資産		
のれん	5,594,969	5,355,722
特許権	2,253,019	2,190,429
その他	1,375,107	1,295,850
無形固定資産合計	9,223,096	8,842,002
投資その他の資産		
投資有価証券	1,602,925	1,651,322
長期貸付金	205,149	201,437
繰延税金資産	223,840	225,015
その他	1,582,215	1,552,881
貸倒引当金	△9,019	△8,991
投資その他の資産合計	3,605,111	3,621,664
固定資産合計	40,756,473	40,114,610
資産合計	67,609,995	68,926,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,663,427	3,023,657
短期借入金	690,000	1,800,000
1年内償還予定の社債	1,725,560	1,725,560
1年内返済予定の長期借入金	1,707,982	1,721,116
リース債務	191,738	226,482
未払金	3,084,573	2,623,485
未払法人税等	739,863	286,075
賞与引当金	1,032,431	583,790
ポイント引当金	91,669	79,405
その他	3,900,497	3,136,565
流動負債合計	15,827,741	15,206,137
固定負債		
社債	7,962,120	7,841,980
長期借入金	7,364,411	6,883,582
リース債務	342,207	259,897
長期未払金	1,799,200	1,823,011
退職給付に係る負債	209,656	205,187
繰延税金負債	41,952	47,546
資産除去債務	22,006	22,110
その他	167,858	166,849
固定負債合計	17,909,414	17,250,166
負債合計	33,737,156	32,456,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,769,340	2,967,840
資本剰余金	943,114	2,141,614
利益剰余金	31,476,622	31,452,793
株主資本合計	34,189,076	36,562,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,319	123,535
繰延ヘッジ損益	1,944	1,704
為替換算調整勘定	△480,583	△272,895
その他の包括利益累計額合計	△387,319	△147,656
非支配株主持分	71,083	56,099
純資産合計	33,872,839	36,470,690
負債純資産合計	67,609,995	68,926,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	16,246,359
売上原価	7,403,290
売上総利益	8,843,069
販売費及び一般管理費	7,984,674
営業利益	858,395
営業外収益	
受取利息	12,819
受取配当金	3,807
為替差益	67,132
受取賃貸料	65,097
その他	48,040
営業外収益合計	196,896
営業外費用	
支払利息	71,230
持分法による投資損失	2,170
賃貸収入原価	23,175
その他	55,054
営業外費用合計	151,631
経常利益	903,660
特別利益	
固定資産売却益	28,902
特別利益合計	28,902
特別損失	
固定資産除却損	12,212
特別損失合計	12,212
税金等調整前四半期純利益	920,350
法人税、住民税及び事業税	260,919
法人税等調整額	207,836
法人税等合計	468,755
四半期純利益	451,595
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,896
親会社株主に帰属する四半期純利益	466,491

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成27年4月1日
至 平成27年6月30日)

四半期純利益	451,595
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	32,215
繰延ヘッジ損益	△240
為替換算調整勘定	207,695
持分法適用会社に対する持分相当額	△6
その他の包括利益合計	239,662
四半期包括利益	691,258
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	706,241
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,983

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月24日付で、公募増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が1,198,500千円、資本準備金が1,198,500千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,967,840千円、資本剰余金が2,141,614千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ 関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	15,985,201	15,985,201	261,158	16,246,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,376	1,376	—	1,376
計	15,986,578	15,986,578	261,158	16,247,736
セグメント利益 又は損失(△)	1,997,432	1,997,432	△125,011	1,872,421

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,997,432
「その他」の区分の利益	△125,011
全社費用(注)	△1,014,026
四半期連結損益計算書の営業利益	858,395

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

第三者割当増資 (オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)

当社は、平成27年5月22日および平成27年6月8日開催の取締役会決議において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、大和証券株式会社が当社株主である田中英成より借り入れる当社株式の返還に必要な株式を取得させるため、同社を割当先とする第三者割当増資による新株発行を決議し、平成27年7月28日に払込みが完了致しました。

(1) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 345,000株
(2) 割当価格	1株につき 1,598.00円
(3) 発行価額	1株につき 1,385.50円
(4) 資本組入額	1株につき 799.00円
(5) 発行価額の総額	477,997千円
(6) 資本組入額の総額	275,655千円
(7) 割当価格の総額	551,310千円
(8) 払込期日	平成27年7月28日
(9) 割当先	大和証券株式会社
(10) 資金の使途	シリコンハイドロゲル素材を用いた1日使い捨てコンタクトレンズの新製品生産ライン増設およびそれに伴う工場増築のための設備投資資金と、当社の継続的な製品認知向上のためのインターネット広告等の広告宣伝費に充当する予定にしております。